



# 会長あいさつ

## 農業委員会

### 会長 高久和司



明けましておめでとうございます。日頃から農業委員会活動に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は農業委員会等に関する法律の改正後、2度目となる改選が行われ、本農業委員会では、7月19日の任期満了に伴い、翌20日から農業委員12人、農地利用最適化推進委員30人の新体制でスタートし、改選後の臨時総会におきまして、私が会長を仰せつかることになりました。本年もどうぞよろしく願っています。

さて、現在の日本の農業は、担い手の高齢化や後継者不足、米価の下落、加えて新型コロナウイルスの終息の見えない状況等、大変厳しい情勢下にありません。こうした中、農業委員会の役割として、「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止・解消」、「新

規参入の促進」等、農地利用の最適化の推進が最も重要であると考えており、5年後、10年後に地域の農地を誰が担っていくのか、誰に農地を集積・集約していくかといった「人・農地プラン」の実質化を進めることが急務となっております。農業委員会としまして、町と連携して、過去に実施した農家の利用意向調査を基に、地域の話し合いを実施し、少子高齢化、鳥獣被害等の多くの課題があります

が、地域の活性化に努めて参る所存であります。

結びに、本年が皆様にとりまして、豊作で幸多き年となりますようご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



## 令和3年度 町農地等利用最適化 推進に関する意見及 び町農業等施策並び に予算に関する要望 と町からの回答

農業委員会では、「令和3年度町農地等利用最適化推進に関する意見及び町農業等施策並びに予算に関する要望」をまとめ、10月13日に平山町長へ要望書を提出し、12月4日に町から回答がありました。要望、回答の概要は、次のとおりです。

### 1 稲作部門について

黒…要望 緑…回答

【(1)農業用排水路等及び農道の整備推進】「要望」各地で豪雨災害が頻発していることや施設の老朽化に伴う補修・整備は、稲作農家に大きな負担となつていことから、整備に係る県単補助金の町負担分の上乗せや町単独土地改良事業費補助金の引き上げ等、支援の拡充を要望いたします。

【回答】今後の県単事業における町負担分及び町単独事業補助金の引き上げについては、県単事業や近隣市町の補助金等の動向を見極

め検討してまいります。



10月13日要望活動時の様子。農業委員会は会長を含む三役と事務局長が平山町長へ要望事項を伝えました。

### 2 畜産部門について

(1)堆肥の利用促進

【要望】本町は、畜産農業を振興しており、その結果副産物として堆肥が発生し年々増加している状況にあります。この堆肥について、畜産農家のみならず耕畜連携等、堆肥の利用拡大推進を要望いたします。

また、町農業公社を窓口とした情報発信の取り組みを要望いたします。

【回答】堆肥の利用促進については、経営所得安定対策事業により飼料作物等への転作を誘導し畜産農家へ供給させることや、畜産農家が生産する堆肥を耕種農家へ供給させる取り組み等、循環型農業